



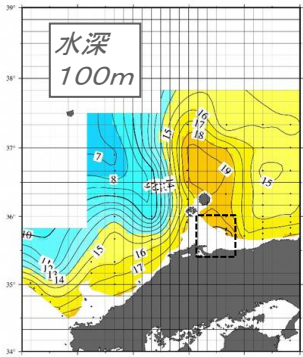
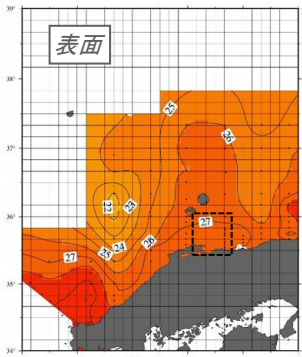
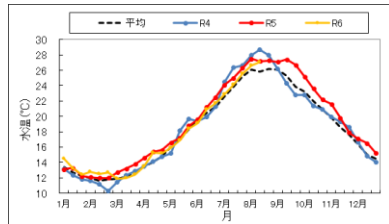
鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽

(電話:0858-34-3321)

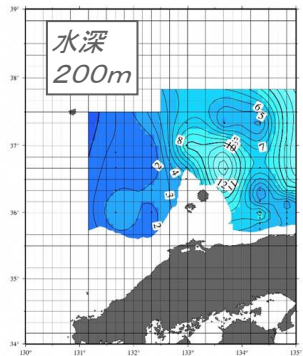
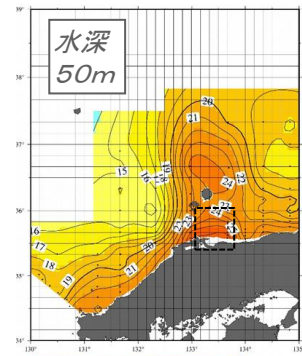
8月中旬 27.1℃

平年より 1.5℃高め



隠岐海峡と鳥取県沖(点線範囲内)の平均水温は27.4℃を示しています。
【前年差: -0.15℃, 平年(直近30年)差: +1.19℃】

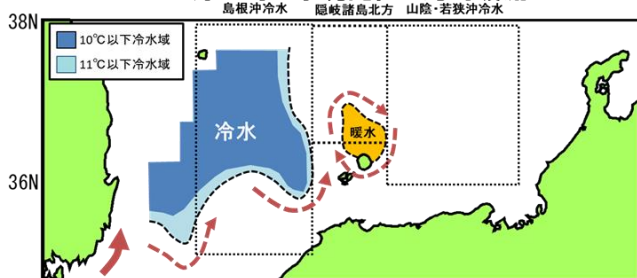
平均水温は17.6℃を示しています。
【前年差: +0.07℃, 平年(直近30年)差: +1.50℃】



平均水温は22.3℃を示しています。
【前年差: +1.35℃, 平年(直近30年)差: +2.05℃】

隠岐諸島北東に10℃以上を示す暖水塊があります。

8月上旬の水塊配置と対馬暖流



鳥根沖冷水域	鳥根県沖のN35°30'付近に冷水域が認められました。
隠岐諸島北方の冷水域 山陰・若狭沖冷水域	冷水域は認められませんでした。
その他(暖水域)	18℃の暖水域が隠岐諸島北方のN36°20'以北に認められました。
対馬暖流の流路	主流は朝鮮半島東岸に沿って北方に向かい流れると考えられます。主流の一部は、鳥根沖冷水域に沿って蛇行しながら北方へ流れると考えられます。隠岐諸島北方のN36°20'以北では、暖水域周辺に時計回りの流れが生じると考えられます。

水産振興課・漁業調整課

2024年7月25-26日漁師の資源管理勉強会～第1回ズワイガニ編～@京都テルサ

漁業者が水産資源の科学や管理を理解し、資源評価、管理の面で行政や研究者と対等に交流でき、三者の信頼関係を構築することを目的に、アメリカで開催されている海洋資源教育プログラム(Marine Resource Education Program: Environmental Defense Fund主催)の日本版をズワイガニ漁業をテーマに初開催(MREPパイロット運営委員会が主催)!! 鳥取県からは鳥取県漁協賢露支所の第二永福丸船長と境港支所の第一現丸船長の沖合底びき網漁業者2名と漁業調整課と水産試験場の県職員各1名が参加しました。
【参加者】石川県～鳥取県の底びき漁業者、鳥根かにかご職員、EDFジャパン(EDFの日本法人)、日本ズワイガニフード協会、水産庁、水産研究・教育機構、東京大学、全国底曳網漁業連合会、石川県～鳥取県、みなど新聞 約70名

1日目は「科学を学ぶ」として資源評価の基本である親子関係やMSY(最大持続生産量)、資源量の推定方法等について分かりやすく説明がなされました。特に、参加型ワークショップとして、魚に見立てた木製「ズ」に海中を模したシムラ「ごみ」をかけて隠し、漁師さんたちが「ドット(枠取り)法」をやり、資源量を推定する体験があり、非常に盛り上がりました。



2日目は「管理を学ぶ」として、資源管理と成長産業化、TAC制度、A海域のズワイガニ漁業とその管理、鳥取県の事例紹介、定置網でアリTACを推進した経緯の紹介について講演があり、活発な意見交換がなされました。本当に良い勉強会でした。

栽培漁業センター

キジハタ(あこう)の市場調査を行っています!

鳥取県では、平成28年から漁業者主体のキジハタの種苗放流が行われています。昨年度は県内各地で2万尾の放流が行われました。栽培漁業センターでは放流効果を明らかにするため、過去の放流魚の水揚げ状況を調査しています。今年度も4月から毎月数回、市場で調査しており、腹鱗の片側が無い、もしくは短いキジハタや背鱗の頭側2～3本の棘が極端に短いキジハタが見つかりました。これらは放流魚である可能性が高く、放流効果を示す大切なサンプルとなります。もし、放流魚と思われるキジハタを発見された際は、栽培漁業センター(0858-34-3321)に連絡してください! 今後も調査へのご協力をよろしくお願いいたします!



水産試験場

『第10回水産試験場 海と魚の学習日』を開催します!

業務内容や海の不思議さや魚の面白さを多くの県民の皆様を知っていただくために、「水産試験場海と魚の学習日」開催しますので、是非ご来場ください。

【日時】9月21日(土) 午前9時30分～午後3時

【場所】鳥取県水産試験場(境港市竹内団地107)
☎(0859)45-4500

【駐車場等】駐車場 約30台

【イベント内容】

- 耳石取りコレクション体験
- キジハタすくい放流
- ちりめんモンスター探し
- 調査・研究紹介(情熱まぐろ調査)
- 一般公開
- 試験船「第一鳥取丸」
海洋実習船「若鳥丸」←コラボ企画
- 県産魚の美味しさ試食(ハタハタ、イカ等)
- スラリーアイス体験
- 展示水槽(栽培漁業対象魚種)
- カニの甲羅積み競争
- お魚めりえ



※詳しくは、次のQRコードからホームページをご確認ください。⇒

大型クラゲ情報

直近の大型クラゲ情報です

・沖合
旋網漁業や第一鳥取丸の試験操業でまとまった量が入網しています。

・沿岸
対馬暖流の流路が沖合にう回しているため、沖合に比べて沿岸は大型クラゲの来運は比較的小さい状況です。しかし、境港の小型底びき網では1回の曳網で30個程度と入網量が増えてきたので、今後の動向に注意してください

令和6年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町92番地1 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

潮に夢を

共和水産株式会社

代表取締役 橋津 寛

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530